第２講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質

PART4 古代ローマ世界１

Chapter1　都市国家ローマの発展と地中海の統一

目標　ローマ共和政の身分闘争はどのように決着したのだろうか。
ポエニ戦争の目的は何であったのか理解しよう。

1　共和政ローマの政体

①前 10 世紀頃　イタリア半島にインド＝ヨーロッパ語系民族（古代イタリア人）が移住
→**ラテン人**は半島中西部に定住し，**ティベル**河畔に都市国家〔　　　　　　〕を建設
②前 6 世紀末　ローマから先住民**エトルリア人**の王を追放
③ローマの共和政
A　**貴族**（〔　　　　　　　　〕）から，任期 1 年で 2 名の執政官〔　　　　　　　　〕が選ばれ政治・軍事を統括
B　公職経験者の貴族からなる〔　　　　　　〕が最高決定機関
※実質的には元老院が指導権を維持し，非常時には**独裁官（ディクタトル）**が独裁権を行使できた。
C　**平民**（〔　　　　　　　　〕）は**中小農民**からなり，全市民による民会には参加できたが政治的影響力は小さかった→重装歩兵として国防を行った

2　身分闘争の変遷

前 5 世紀初め　元老院やコンスルの決定に拒否権を持つ平民による〔　　　　　　〕と，平民だけで構成される〔　　　　　　〕の設置
前 5 世紀半ば　〔　　　　　　　　〕を制定
→法知識を独占していた貴族に対して慣習法を成文化して公表
前 367 年　**リキニウス・セクスティウス法**を制定→コンスルの 1 名は平民から選出
前 287 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を制定
→平民会での決議は元老院の承認なしに国法とされ，平民と貴族の法律上の権利は同等となる
※有力な貴族と上層の平民が政権を独占し，新しい貴族（**ノビレス**）と呼ばれた。

3　ポエニ戦争

ローマは対外進出に力を注ぎ，周辺の都市国家を次々に征服していった。

①前３世紀前半　全イタリア半島を支配

A　ローマは征服した都市と個別に異なった条件で同盟を結ぶ，

巧妙な〔　　　　　　　　　〕で反乱を防いだ

→植民市，自治市，同盟市に分けて待遇に差

B　海上では地中海西方を支配していた〔　　　　　　　　　〕と衝突

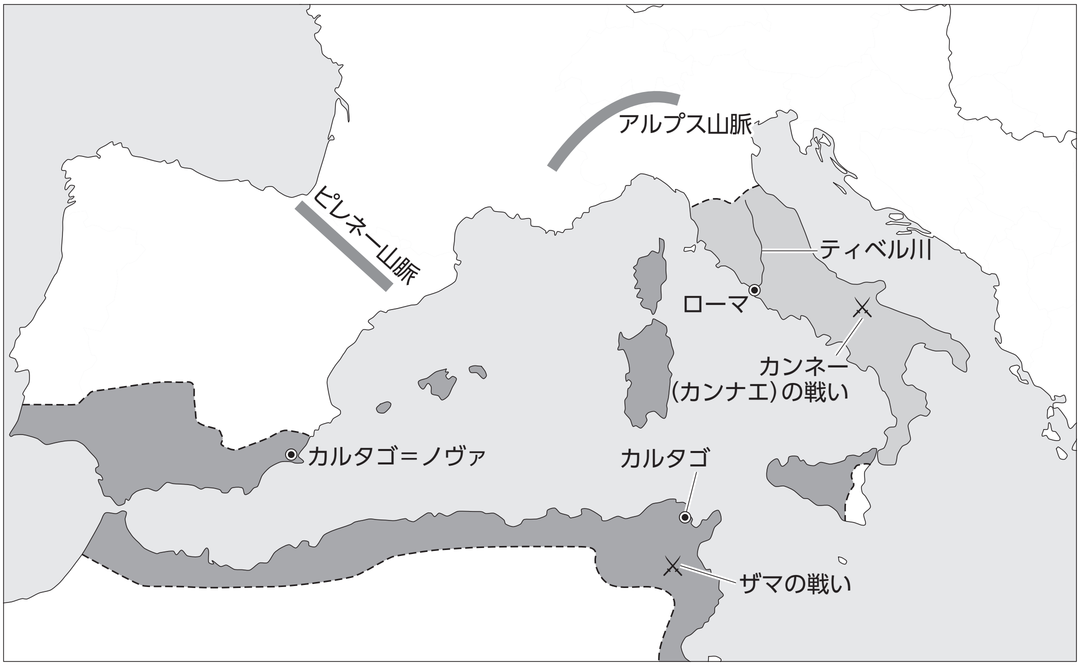
→３回にわたる**ポエニ戦争**をおこす

②前 264 年～前 241 年　第１回：ローマが勝利し，シチリア島獲得

③前 218 年～前 201 年　第２回：カルタゴの将軍〔　　　　　　　　　　　〕のイタリア半島侵入

前 202 年の**ザマの戦い**で，ローマの将軍**スキピオ**がカルタゴ軍に勝利→カルタゴ降伏

④前 149 年～前 146 年　第３回：ローマがカルタゴを滅ぼして西地中海の覇権を握る



ポエニ戦争

まとめ　ホルテンシウス法で平民会の決議が国法とされると，貴族と平民の法的平等が達成された。
ポエニ戦争はローマとカルタゴの地中海の覇権争いであった。

Chapter2　ローマ共和政の変容と「内乱の１世紀」

目標
ローマの共和政はどのように変化したのだろうか。
「内乱の１世紀」の経緯を知ろう。

1　ローマ共和政の変容

ローマは第１回ポエニ戦争でシチリア島を獲得して以降，イタリア半島以外の占領地を次々に**属州**として支配した。

①属州の自治は許されず，ローマに任命された総督（元老院貴族）が軍隊で統治

②属州民は納税と軍事的義務を負わされ，徴税は**騎士**（〔　　　　　　　　　　〕）が請け負う

③征服戦争の主力として従事したローマの中小農民が没落すると，属州からの富を独占した元老院貴族と騎士は農地を買い集め，戦争捕虜を**奴隷**として使役する

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（大土地所有制）が広まった

→新貴族（ノビレス）として新しい支配階層となった

④属州からの安価な穀物の流入は中小農民に打撃を与え，平民（中小農民）の没落が進み，市民間の経済格差が広がった

→土地を失った中小農民が無産市民となり都市ローマに流入

「パンと見世物」を要求

→市民の平等を原則とするローマの共和政は不安定になり，

元老院の支配を守ろうとする〔　　　　　　〕と，

無産市民や騎士が支持する〔　　　　　　〕に分かれて争うようになった

2　「内乱の１世紀」と地中海の平定

軍の主力である農民の没落は，軍事力と共和政の基盤をゆるがした。

前２世紀後半　〔　　　　　　　　　　　　　　〕の改革（前 133 年～前 121 年）

兄弟があいついで護民官に選ばれ，大土地所有者の土地を没収し，無産市民に再分配して中小農民の再建を目指した

→元老院と対立して失敗。政治的な対立による内乱が続き「**内乱の１世紀**」に突入

前１世紀前半　平民派マリウスと閥族派スラが激しく対立

A　イタリア半島の同盟市がローマ市民権を求めて反乱をおこす

B　剣闘士（剣奴）〔　　　　　　　　　　　　〕に率いられた奴隷反乱がおこる

→反乱を鎮圧した**ポンペイウス**が台頭し，元老院と対立

前60年　第1回〔　　　　　　　　〕:〔　　　　　　　　　　　　〕，平民派の〔　　　　　　　　〕，大富豪のクラッススが盟約を結んで政権を握る

前46年　カエサルが**ガリア**遠征に成功して主導権を握り，クラッススが戦死すると，対立したポンペイウスを倒して全土を平定→独裁官（ディクタトル）となり，属州の徴税請負人の廃止など社会の安定化に努めたが，**終身独裁官**に就任すると共和派の**ブルートゥス**らにより暗殺（前44年）

前43年　第2回三頭政治：カエサルの部下〔　　　　　　　　　　　　〕，カエサルの養子〔　　　　　　　　　　　　　　　〕，**レピドゥス**が再び盟約を結んで閥族派をおさえた

前31年　オクタウィアヌスはプトレマイオス朝の女王**クレオパトラ**と結んだアントニウスを〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕で破り，プトレマイオス朝は滅亡しローマの属州となる→地中海はローマによって統一

地中海全域の勢力図

まとめ

ラティフンディアからの安価な穀物の流入で中小農民が没落し，属州経営で富裕化した新貴族や騎士が台頭した。
グラックス兄弟の改革からはじまり，有力者が私兵を囲って抗争したが，オクタウィアヌスによって地中海は統一された。

第２講 PART4 確認問題

1 ローマ共和政で実質的な支配権を持っていた公職経験者の貴族による会議は何か。

① 僭主　② 民会
③ 元老院　④ 貴族院

2 前５世紀初めに設置された元老院やコンスルの決定に拒否権を持つ平民による官職は何か。

① 護民官　② 執政官
③ 独裁官　④ 裁判官

3 前287年に制定された，元老院の承認なしに平民会での決議が国法となる法律は何か。

① 市民法　② リキニウス・セクスティウス法
③ 十二表法　④ ホルテンシウス法

4 前３～前２世紀にかけてローマとフェニキア人の植民市カルタゴとの間で行われた戦争は何か。

① ペロポネソス戦争　② ポエニ戦争
③ シケリア戦争　④ イタリア戦争

5 ローマの拡張期に，没落した農民の土地や征服地などで行われた，奴隷を使った大規模な農業経営を何というか。

① オストラシズム　② 奴隷制
③ ラティフンディア　④ コロナトゥス

6 前２世紀後半に農民の没落を防ぐために護民官となり，改革を実行しようとして失敗したのはだれか。

① マリウス　② グラックス兄弟
③ スラ　④ スパルタクス

7 第１回三頭政治に参加した後，終身独裁官に就任すると暗殺された政治家はだれか。

① ポンペイウス　② クラッスス
③ カエサル　④ ブルートゥス

8 第２回三頭政治に参加したオクタウィアヌスが，アントニウスを破った戦いは何か。

① アクティウムの海戦　② ザマの戦い
③ カイロネイアの戦い　④ サラミスの海戦

第 2 講　PART 4　確認問題　解答

1 解答：③　**元老院**は公職経験者の貴族から成り，任期は終身制だった。

2 解答：①　**護民官**は平民保護のために設置された官職で，平民会の投票で選出された。

3 解答：④　**ホルテンシウス法**の制定によって，平民と貴族の法律上の権利は同等となった。

4 解答：②　**ポエニ戦争**によってカルタゴを滅ぼしたローマが地中海の覇権を握った。

5 解答：③　属州からの富を独占した元老院貴族や騎士階層による**大規模な農業経営**を**ラティフンディア**という。

6 解答：②　**グラックス兄弟**は護民官として中小農民の再建を目指したが，元老院と対立して失敗に終わった。

7 解答：③　**カエサル**は，のちに主導権を握り，終身独裁官に就任すると共和派によって暗殺された。

8 解答：①　オクタウィアヌスは，**アクティウムの海戦**でプトレマイオス朝の女王クレオパトラと結んだアントニウスを破った。